

新宿 ビズタウンニュース

目次

創業を応援します! 1-3
おじゃまします!
ものづくりの現場 4-5

インフォメーション 6-8
中小企業の景況 8

No. 18
平成24年9月30日号



創業を応援します!



新宿区では、中小企業の自立を支援し資金面を補完することで、中小企業の振興を図っています。そのため、必要な事業資金を事業者が低利で受けられるよう、金融機関への融資の紹介を行っています。

借入には金融機関等の審査が必要ですが、融資が決定した場合、区から利子や信用保証料の補助（一部の資金を除く）を受けることができます。

今号では「新宿区中小企業向け制度融資」の一つである「創業融資」の利用例とともに、具体的な利用に関する流れも併せてご案内します。

区内での創業、経営の安定化・拡大等にお役立てください。

新宿区の制度融資を利用しました

新宿区の制度融資(「中小企業向け制度融資」)には、商工相談(面談)が必要です。この制度を利用して実際に創業をした、株式会社明時^{あかつき}さんの例をご紹介します!

相談しました



●商工相談利用者●
株式会社 明時 代表取締役社長
長野幸雄 さん

事業計画への的確なアドバイスが心強かった

— 創業のきっかけを教えてください。

大学卒業以来30年以上にわたって液晶ディスプレイ「筋」でしたが、今後も伸びる業界だと感じていましたし、やりたい仕事はやはり自分で興してみたい、そんなチャレンジの気持ちがありました。リモコンや炊飯器、電卓といった製品に使われている小さな液晶パネルのほとんどは中国や台湾から輸入していますが直接取引ができる日本企業は少ないですね。そこで、それまでに培ってきた人脈も活用して、液晶パネルに特化した輸入専門商社を自分で立ち上げたいと思ったのです。

— 具体的にはどのような業務内容でしょうか。

本来メーカーが行う仕事も代わりに行っていまして、海外の液晶パネルメーカーに設計・試作を依頼し、品質に問題がな

ければ量産を依頼し、輸入します。現在、中国と台湾の企業と取引をしていますが、創業時は3名でしたが今は私を含め8名です。

— 新宿で創業した動機と、区に創業融資のあることはどのように知ったか教えてください。

新宿は学生時代から通っていたまちなので馴染みがありましたし、交通の便もよいからですね。融資制度については、創業の準備をしていたとき、いろいろ調べていて知りました。

— 実際に「商工相談(面談)」を受けた感想はいかがですか?

はい。商工相談員の方に事業計画を見てもらえたのが非常によかったです。業界を知っているとはいえ、会社を運営するのは初めてのことで、自分で立てた計画が果たして合理的なのかどうか一人では判断できなかったからです。専門の方からの確かなアドバイスをいただき大変勉強になりましたし、ありがたかったです。相談してよかったですと思います。

— 過去に培った人脈も創業への後押しになっているようですが具

体的には?

現在にはたまたま中国や台湾との取引をしていますが、海外とのビジネスでは異文化への理解が求められますから、経験豊富な知人からそのへんをいろいろアドバイスしてもらえたことがとても助かりました。

— 今後の目標を教えてください。

液晶パネルの輸入ビジネスは、日本では概ね市場が固まってきています。これからは、「液晶等表示関連材料」ですね。部品は製品の生産が終われば調達が終わりますが、材料はメーカーと長く取引ができます。また、3〜5年先を見据えて、液晶以外の分野で柱になる事業を模索し、会社を安定させていきたいと思っています。



取り扱う液晶パネルはエアコンのリモコンや業務用PHSに使われています



お答えしました

原点を見つめ直すお手伝いが私たちの仕事

今、日本国内のビジネスは手詰まりになっています。だから何とかしなければと簡単に海外に目を向けてしまいがちですが、長野さんの場合は非常に計画的であり、液晶パネル業界の動向についてもご自身で予見をしていました。滑り出しも順調と言ってよいでしょう。確固たる青写真が用意できていた点がよかったと思います。

不況の折、増えているのが「やむなく創業」です。リストラに遭った、仕事なくなった、という図式でやむを得ず創業するケースです。自分の力を示したくて創業しようと

する人もいますが、実際に試算表を作って可能性を探ると経営が難しいとわかる場合もしばしばです。

私たちは第三者の視点で様々な業界動向を踏まえながら、問題点をできるだけ具体的に指摘します。創業者の立場に立って、質の高いアドバイスを心がけますが「何をしたいのか」がブレないこと、これが重要だと感じます。

これからも創業の際のサポーターとして、皆さんのお力になればと思います。



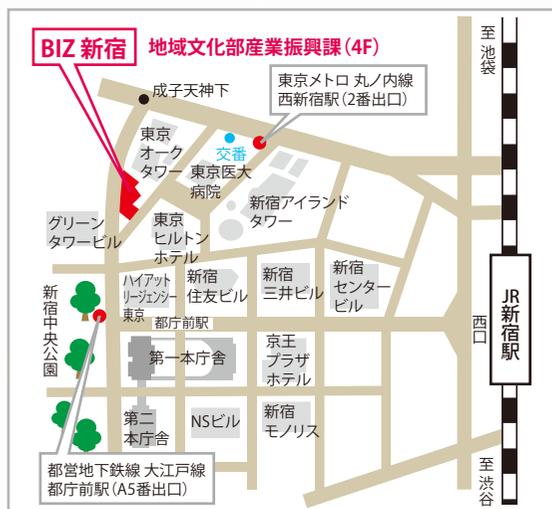
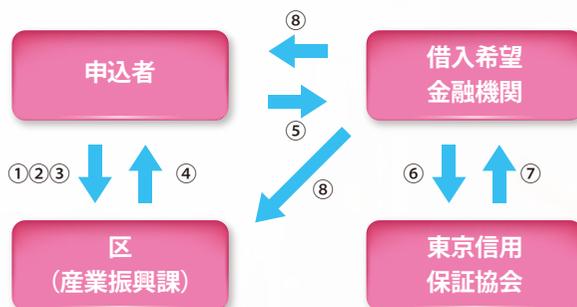
●新宿区商工相談員(中小企業診断士)●
和田敦登

「中小企業向け制度融資」の利用をお考えの方へ

ご利用方法

- ① 申込書等を受け取り、必要事項を記入し、その他必要書類をそろえます。
- ② 面談の予約をします。(電話予約可)
- ③ 予約した日時に、必要書類を全て持って面談を受けます。
- ④ 面談終了後、紹介状を受け取ります。(創業資金、創業資金(借主特例)、店舗改装資金(貸主特例)、技術・事業革新資金、債務一本化資金については後日となります)
- ⑤ 紹介状を持って、借入希望金融機関に行き、貸付について協議します。
- ⑥ 金融機関は審査を行い、必要に応じて東京信用保証協会へ信用保証を依頼します。
- ⑦ 東京信用保証協会は信用保証の可否を審査し、金融機関に通知します。
- ⑧ 金融機関は融資実行の可否を決定し、申込者に通知します。区へも融資実行の可否報告をします。

手続きの流れ



BIZ新宿 (新宿区立産業会館)
 東京メトロ丸の内線「西新宿駅(2番出口)」下車5分
 都営地下鉄大江戸線「都庁前駅(A5番出口)」下車8分

● 問合せ先

地域文化部産業振興課

新宿区西新宿6-8-2 BIZ新宿 (新宿区立産業会館)
 電話 (3344) 0702

お店を始めたい方へ

中小企業向け制度融資 商店街空き店舗活用支援融資

区内の商店街に活力ある事業者を呼び込み、賑わいあふれる商店街を創出するために、空き店舗を活用して創業する事業者に対して、一般の創業資金より有利な利子及び信用保証料の補助を受けることができる融資の紹介を行っております。融資を希望する方は、産業振興課で面談を受けていただきます(予約制)。利用要件等詳しくは、お問い合わせください。

創業資金(借主特例)融資制度

区内の商店街にある空き店舗(1か月以上商業活動を行っていない店舗)を借りて、新たに店舗を出店し、創業しようとする方を対象とする融資制度です。

制度の主な内容

- 【融資限度額】 1,000万円(既に創業しており、5年未満の方は2,000万円)
- 【返済期間】 7年以内(うち据置期間12か月以内)
- 【貸付利率】 2.1%以下
- 【利子補給】 2.1%以下(本人負担なし)
- 【信用保証料補助】 支払った信用保証料の全額を補助

工房 貴美

所在地:新宿区中井2-21-26 電話:(3953)7675

東京手描友禅に人生を捧げて56年



平成24年4月「東日本伝統工芸展」出展の「躑躅(つつじ)華紋」

思いをイメージ通りの色へ職人のこだわりを貫く
友禅とは精巧な下絵をもとに、筆や刷毛を使って絵を描くように布地を染める技法。本来、染色作業は分業が一般的ですが、真淵貴昭さんの「工房 貴美(たかみ)」では図案の構想を練る段階から、下絵作り、糸目置き(染料がにじまないよう下絵の輪郭に沿って糊を置く



「工房貴美」を経営する染色作家 真淵貴昭さん



下絵と仕上がりが

「ある日、友人が東京で布に絵を描きたいと考えました。」
長野県出身の真淵さんが東京にやってきたのは18歳の頃。子ども頃から絵を描くことが大好きで、美術大学に進学して絵の勉強をした。

偶然だった友禅との出会い 「絵描き」の夢が布地に開花

「かつて東京の友禅はほとんどがあつたから、つまりオーダーメイドでしたから、お客さまの希望に応じて仕事をします。高度経済成長期には注文が増えて同じデザインを何着も作る仕事に移り変わりました。最盛期には7、8人の弟子みんなで休みなく働いていましたから、とにかく忙しかったですね」

しかし、徐々に着物人口は右肩下がり。呉服店や問屋さんからの注文が中心だった時代も過ぎ、取引先も店を閉じ百貨店の呉服売り場も縮小体制。そんな厳しい状況ではありましたが、創作意欲は衰えることを知りません。
「今は自分が描きたいものを作っ

作業)、友禅挿し(下絵に色を付ける作業など、ほぼすべての部分を一人でこなしています。『挿し』だけ携わるのでは満足できなかったんです。下絵の段階で色のイメージは必ずあるはずですから」
そう語る真淵さん

く仕事があると教えてくれました。昼間は布に絵を描き、夜はデッサンの勉強ができるだろうと、二つ返事で東京行きの列車に乗り込んだのです」
その仕事というのが、実は「東京手描友禅」でした。偶然踏み込んだ世界でしたが、弟子入りし修行を重ねるうちに東京手描友禅の奥深い世界にすっかり魅了された天職となりました。

四季折々をテーマに 残したい技、そして心

友禅に人生を捧げて56年。「器用だったら他の仕事に就こう思ったでしょう。不器用だからこれしかできなかったんです」そう振り返る真淵さんですが、(社)日本工芸会会員に名を連ねています。今、力を入れてる創作友禅も四季折々の自然を上品に取り入れ、作品は「日本伝統工芸展」で入選しています。
友禅の技を絶やさないこと、美の心を引き継ぐこと、それが目標。創作活動だけでなく後進の育成にも熱心です。



工房では後継者への指導も積極的に行っています

※新宿ものづくりマイスター(技の名匠)

区内のものづくり産業の振興を目的に、区内でものづくり産業の同一業種に10年以上従事し、優れた技術・技能を持ち後進の指導を行っている方を「技の名匠」として認定する制度です。

家庭で愛されるロボットを作るために



代表 青木俊介さん

ロボットを作る仕事をしたい 満を持しての創業

つい最近まで、ロボットといえば工場で働く工業用が中心でした。今では家の掃除をする製品が発売されるなど、ロボットが暮らしのなかで身近な存在になってきました。

「いつかロボットに関わる仕事をしたい」

そう考えていた青木俊介さんは、学生時代の友人と立ち上げた会社で企業向けのソフトウェア開発に携わる傍ら、着々と準備を進め、満を持して2007年10月にユカイ工学を立ち上げました。

ロボットといっても、その種類は様々です。ユカイ工学が考えるロボットとは、インターネットのようなバーチャルな世界と実社会を結びつけるインターフェイス。難しい

操作を必要とせず、暮らしを便利にするものです。

製品の企画から設計を 自社で手がけられる強み

同社が手がけた『ココナッチ』は、電子メールやTwitter、Facebookに自分宛のメッセージが届くと、『ココナッチ』が声や色、動きで受信を教えてくれるロボット。頭をもみもみするとメッセージを返信できます。キーボードの操作をしなくても、相手とコミュニケーションを図ることができます。

「ずっと家に置いてもらえるデザインと、毎日使われるような機能を備える、家庭に普及できるロボットがコンセプトでした」

同社の強みは製品の企画から設計まですべて自社内で手がけられることです。社内には青木さん

を含め7名のスタッフが在籍。それぞれがデザイン、メカトロニクス設計、ソフトウェア開発をこなします。

2010年「新宿区ものづくり産業支援事業補助金」(※)を活用して販路開拓のために参加した展示会・東京

デザイナーズウィークでも大きな注目を集めました。

「まずは『ココナッチ』を知ってもらい、販路拡大を目指して参加しました。想定していたよりもたくさんの方が集まり、共同プロジェクトをスタートさせることになりました」

ロボットが人間の暮らしを サポートする未来

大手事務機器メーカーと共同開発を進めるのが『ココナッチ』を使った会議支援システム。『ココナッチ』の頭をもみもみすると、会議で発言した人に対して「いいね」のサインを送れるものです。また『ココナッチ』は大手住宅メーカーのスマートハウス(HT)による省エネルギー化を実現する住宅)のユーザーインターフェイスにも採用されました。

「機械的な音声で案内されるような家にはあまり住みたくないでしょ? 電気の使用量が増えると『ココナッチ』が赤くなったり、頭をもみもみするとエアコンが消



完成版『ココナッチ』。パソコンとつなぎメールが届くと光って知らせてくれます

※新宿区ものづくり産業支援事業補助金

新宿区内の『ものづくり産業』を支援するため、新製品・技術開発事業や販路開拓事業を行う中小企業等に対して補助金を交付する制度です。

せたりする。そんな直感的で分かりやすい操作が、私たちが考えているロボットのあり方です」



『ココナッチ』が生まれるまでにこんな変遷がありました!

今後はロボットを家のなかのセンサーと連動させたり、インターネットに接続させたりして、外部情報を取り入れていきたいと青木さんは考えています。

「たとえば、人の生活パターンをロボットが把握できたら、異常を早期に発見できますから、高齢者の暮らしをサポートにも活用できるのではと考えています」

ユカイ工学のチャレンジは、まだまだ始まったばかりです。

テーマ 業種の垣根を越えた総合ビジネスフェア

ビジネスフェアご案内

未来に架ける橋 ～“いつか…”を“これから!”に新たな出会いが未来を拓く～

江戸・TOKYO 技とテクノの融合展 2012

入場
無料

日時 平成24年10月17日(水) 10:00～17:00

会場 東京国際フォーラム 展示ホール
(東京都千代田区丸の内3-5-1)

主催 東京信用保証協会

出展者過去最多

中小企業272社ほか
支援機関12機関・
団体が出展



展示即売も
あります

著名な講師による講演会を3回開催 聴講無料! 予約不要!

第1部/10:30～11:45

「まいど1号から学んだ人づくり
～育てる 育つ 育てられる～」

株式会社大日電子 代表取締役
東大阪宇宙開発協同組合 理事長

杵本 日出夫 氏

第2部/13:15～14:30

「～負けるな町工場!元気出せ中小企業!～
金ではなく頭を使う生き残り発想法」

有限会社中里スプリング製作所 代表取締役

中里 良一 氏

第3部/15:15～16:30

「～世界の中の日本を考える～
日本が直面する課題と進路」

一般財団法人日本総合研究所 理事長
多摩大学 学長
株式会社三井物産戦略研究所 会長

寺島 実郎 氏

★講演会★

出展者によるプレゼンテーション、その他ビジネスマッチングの企画も盛りだくさん!



クリック

東京信用保証協会

検索

メールマガジン
会員募集中!

皆さまのご来場を心よりお待ちしております

<http://www.cgc-tokyo.or.jp>

【問合せ先】 東京信用保証協会ビジネスフェア実行委員会事務局 電話 (3272) 2070



独立行政法人造幣局からのお知らせ

ご存じですか?

貴金属製品には品位保証の「信頼と安心のホールマーク」を

ホールマークとは

ホールマークとは、指輪やネックレスなど貴金属製品に使われている貴金属(金や銀、白金(プラチナ))の品位(純度)を証明するマークです。金、銀、白金(プラチナ)合金のほか、金と白金(プラチナ)を組み合わせたコンビ製品など、指輪やネックレス、ブレスレットをはじめとして、仏像や室内装飾品など、大小を問わず、色々な貴金属製品を対象にしています。

製品に含まれている貴金属は、目で見ただけではその材質や品位(純度)が分からないことから、造幣局では、公的な第三者機関として、製造又は販売をしている事業者の方々から依頼を受け、貴金属製品の品位試験(分析を行い、製品に含まれる貴金属の割合を調べる)を行い、この試験に合格したものにのみ品位証明印(ホールマーク)を打刻し、その製品の品位を証明しています。

日本のホールマークは、任意の制度として設けられています。そのため、市販されている貴金属製品にはホールマークのない製品もあります。しかし、信頼できるホールマークがあつてこそ品位の判別が可能となるものです。

品位証明印(ホールマーク)について

日本の造幣局の証明である「日の丸」と「千分率で示した品位の数字をひし形で囲ったもの」で表されます(図1参照)。白金(プラチナ)製品には、Ptのマークが入っています。



図1 ホールマークの例



日本の公的機関である造幣局が証明していることを示す日の丸



品位(千分率で示した貴金属の純度)
※この例の場合は9割の白金(プラチナ)を表す



白金(プラチナ)を示すマーク
※金・銀の場合は表示しない

【問合せ先】 〒170-0013 東京都豊島区東池袋4丁目42-1 独立行政法人造幣局 東京支局事業管理課 電話 (3987) 3136

フォーラムご案内

～新型うつ病？で休職を繰り返す人への対応を考えよう～

精神科・職業リハビリテーション推進フォーラム

「第5回 うつ病休職者の職場復帰支援を考える」

- | | |
|--|---|
| <p>【日 時】 平成24年10月31日(水) 13時～17時</p> <p>【会 場】 都民ホール(東京都庁 議会棟 1階)</p> <p>【対 象】 都内企業・自治体のメンタルヘルス、人事・総務担当の方等</p> <p>【参加費】 無料</p> <p>【主 催】 東京都立中部総合精神保健福祉センター
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
東京障害者職業センター</p> <p>【共 催】 新宿区</p> <p>【申込み】 要予約。電子申請のみとなります
東京都立中部総合精神保健福祉センターもしくは
東京障害者職業センターのホームページに
アクセスしてください</p> <p>【締 切】 平成24年10月19日(金)先着250名</p> | <p>【内 容】 ○講演「軽症慢性型うつ病への復職リハビリテーションを理解するために」
東京都立中部総合精神保健福祉センター
生活訓練科長
菅原 誠(精神科医・労働衛生コンサルタント・
産業医)</p> <p>○今年もやります!
「さあ、本音で語り合おう―事例をとおして―」
テーマ「新型うつ病による休職リピーター」
企業人事・産業保健師・企業顧問弁護士・
精神科産業医等が登壇予定</p> <p>○説明「職業リハビリテーションにおける
リワーク支援の実際」
東京障害者職業センター 柴山 真由子
(リワークカウンセラー)</p> |
|--|---|

【問合せ先】 電子申請に関して ➡ コールセンター 電話 0570(00)5353
フォーラムに関して ➡ 東京都立中部総合精神保健福祉センター 電話(3302)7702

ご利用ください

新宿区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは、一人ひとりが自らのライフスタイルに応じて、仕事や家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動を、自ら希望するバランスで実行できる状態のことです。企業側もワーク・ライフ・バランスの取り組みにより、従業員の意欲、能力、創造性を引き出し、生産性の向上を図れます。

区では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組む企業を支援するため「新宿区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」を実施しています。既に、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業、これから取り組みたいと考えている企業の方は、ぜひ、区の認定制度をご利用ください。申請方法等詳しくは、お問い合わせください。

① 認定制度の対象企業は?

→新宿区内に事業所のある企業が対象です。

② 認定制度の仕組みは?

→企業からの申請に基づき、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業を、新宿区が「ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定します。また、ご希望の申請企業には、コンサルタントを1社につき最大5回まで無料で派遣し、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業を支援します。

③ 申請するとどんなメリットがありますか?

→申請が受理されると「ワーク・ライフ・バランス企業応援資金」(中小企業向け融資制度)の利用が可能となります(融資については産業振興課へお問い合わせください)。

④ 認定を受けるとどんなメリットがありますか?

→区のホームページや啓発誌「ウィズ新宿」にて企業の紹介をします。

※このほか、区内の中小企業を対象に、男性の育児・介護休業の取得や育児・介護のための短時間勤務を推進している企業に奨励金を支給する『男性の育児・介護サポート企業応援事業』も実施しています(1社につき3回まで。1回30万円を上限)。要件等詳しくは、お問い合わせください。

【問合せ先】 子ども家庭部男女共同参画課 電話(3341)0801

新宿区立高田馬場創業支援センターが1周年 「高田馬場ビジネスサミット2012」開催のお知らせ

事業発展のヒントにお役立てください

高田馬場創業支援センターでは「高田馬場から生まれたビジネス。これからの展望」をテーマに「高田馬場ビジネスサミット2012」を開催します。

起業を目指す方はもちろん、第二創業、事業継承(経営革新)を目指している方、事業者の方にとっても経営のヒントが盛りだくさん。ぜひご参加ください。

【内容】

★セミナー★

①ケーススタディ「スムーズな事業継承は更なる成長の必須条件!」
13:00～14:30 講師:鈴木信二氏(税理士法人アンビシャス 代表)
多くの企業が抱える後継者問題。具体的に何を準備し、どのように取り組めばよいのか、事業を更なる成長に導いた企業の事例から学びます。(要事前申込み、20名)

②「新宿・高田馬場のこれまで、これから」
15:30～17:00 講師:馬場章夫氏(東京商工会議所新宿支部副会長、愛国製茶株式会社代表取締役)／川名和美氏(新宿区産業コーディネーター、高千穂大学 経営学部教授)

地元経済人に聞く、新宿・高田馬場のこれまでの歩みとこれからの展望。ビジネスポテンシャルの高い「新宿・高田馬場の魅力」を熱く語っていただきます。(要事前申込み、36名)

- 【日時】 平成24年10月27日(土) 10:00～17:00
- 【会場】 新宿区立高田馬場創業支援センター(高田馬場1-32-10)
- 【対象】 起業を目指す方、区内事業者
- 【参加費】 無料
- 【主催】 新宿区
- 【後援】 東京商工会議所新宿支部

★事業紹介コーナー★ 10:00～17:00
当センターの利用者による事業紹介コーナー。

★ビジネスよろず相談室「助太刀喫茶『安兵衛』」★ 10:00～13:00
起業・第二創業に関するご相談を受けます。起業をお考えの方、すでに準備を進めている方、いずれもOKです!(要事前申込み、6組)

★交流コーナー★ 10:00～17:00
当日参加者の交流コーナーを設けています。ご利用ください。

※「セミナー」「起業よろず相談室」のご参加には事前申込みが必要です。希望の番号を添えて10月19日(金)までに電話、FAXまたはメールでお申し込みください
①ケーススタディ、②新宿・高田馬場、③ビジネスよろず相談。応募者多数の場合は抽選となります。



【問合せ・申込み先】 新宿区立高田馬場創業支援センター(田中・本田・桑原)
電話(3205)3031 FAX(3205)1007 メールアドレス incu@shinjuku-center.jp

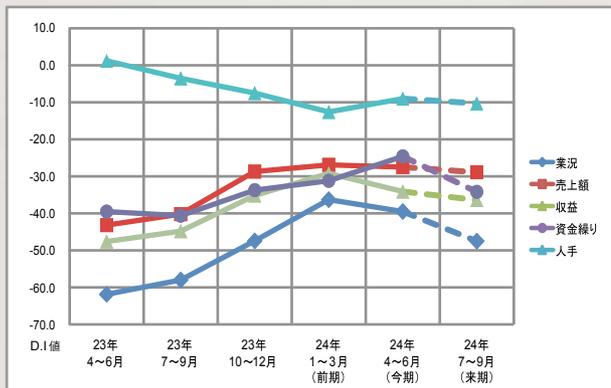
新宿区中小企業の景況

平成24年
4月～6月期

新宿区では区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています

1. 調査時期 平成24年6月下旬
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査対象業種 製造業(60件)、印刷・同関連業(46件)、染色業(20件)、建設業(52件)、情報通信業(47件)、卸売業(58件)、小売業(71件)、飲食・宿泊業(74件)、不動産業(52件)、サービス業(84件)
※カッコ内は有効回答数
4. 調査機関 (株)東京商工リサーチ

●項目別D.I.の推移(全体)



業況:経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。
D.I.(ディーアイ):Diffusion Index(ディフュージョン インデックス)の略で、増加と答えた企業の割合から、減少と答えた企業の割合を差引いた数値のこと。D.I.値がマイナスの場合、業況・売上額・収益・資金繰りは不調傾向を、人手は不足傾向を示す。

●今期の特徴

業況D.I.は-39.5と、前期(平成24年1月～3月)の-36.3からわずかに悪化している。前期まで3期連続で改善となったが、今期はその動きが停滞している。来期(平成24年7月～9月)の見通しは-47.5と、更に厳しさが増す見込みとなっている。

●業種別調査結果(今期)

製造業	印刷・同関連業	染色業	建設業	情報通信業
卸売業	小売業	飲食・宿泊業	不動産業	サービス業

景況調査の読み方



※景況調査の詳細は、新宿区ホームページでご覧いただけます。